

将来の選択肢が増える

# 2 学科制

## より幅広い視野と専門性を兼ね備えた人材の育成

従来の伝統的な学科区分を超えて、関連する専門分野の連携・融合を図り、選択の自由度を大きく広げた斬新なカリキュラムを構築。これにより多面的な発想に基づくセルフオーダー的学修が可能となり、高い基礎学力と幅広い視野に専門性を兼ね備えた工学系人材の育成を行います。

- ▶ 各学科に様々な専門分野を志向する学生が混在
- ▶ 専門分野の異なる学生に対する分野融合的講義
- ▶ 主体的学びを促進するフィールドワーク型講義
- ▶ コミュニケーション力を鍛えるアクティブラーニング

1年次

前期  
後期

学科所属

基礎教育 及び 前期専門教育

コース選択

2年次

前期  
後期

コース所属

後期専門教育

3年次

前期  
後期

専門科目履修

4年次

前期  
後期

研究室所属

卒業研究

工学のさらなる探究

大学院

博士前期課程

博士後期課程

学科所属

共通カリキュラム

1年次は各学科とも、共通カリキュラムとして基礎教育 / 基礎専門教育 / 専門導入教育などを学びます



エネルギー、地球環境問題など日本のみならず世界的な課題を解決し成果を地域に還元する

## 地球環境工学科

地球環境問題は、現在、人間社会における様々な産業分野において対応しなければならない必須の課題であり、それに対して主体的に取り組むことができる技術者の養成が求められている。地球環境に関する課題の解決には、伝統的な各専門分野の縦割りの教育研究組織では十分な対応を取ることは難しい。本学科では、新しい視点からエネルギー、環境防災、先端材料物質の3分野に基礎を置き、これらの分野における教員の連携による総合的な取組を通じ、世界に通用する特徴ある研究を推進する。また、前述3つの分野を中心とした様々な側面から地球環境問題の解決に寄与できる知識・技術を教育することにより、課題の「発掘」から「解決」に至るプロセスを主体的に見出し、多面的・融合的に「考える力」を備え、エネルギー、資源、地球環境問題など日本のみならず世界的な課題を解決できる学生の育成を目指す。



北海道の第一次産業地域にある工業大学として地域産業振興を支援し、地域課題を解決し、成果をグローバルに展開する

## 地域未来デザイン工学科

我が国や世界を取り巻く気候・社会構造・情勢が大きく変化するなか、第一次産業を基盤とするオホーツク地域に立地する唯一の工業大学としての強みを最大限に生かした教育を実施する。オホーツク圏をモデル地域として、「工学的見地から地域の課題を見出す課題発見力」、「解決に取り組む主体的な姿勢」、「成果を地域に還元する積極的姿勢」を養うための特徴ある取り組みを実践する。安全・安心で魅力ある地域の未来をデザインし、その成果をグローバルにも展開できる能力を養う。

本学科では、課題の発掘から解決に至るプロセスを体験させることで、目的意識を持ち主体的に「考える」ことの重要性を身につけた応用力のある学生を育成する。卒業する学生は、北海道やオホーツク地域はもとより日本全国、さらには国際的にも活躍できる素養を身につけることができる。

コース選択

より専門性の高い教育で学びの目標を深める

1年次末には専門的な「コース」を選択し、2年次前期からは各コースへ配属し、専門性の高い教育を受けます。これにより学びの目標を深めていくことはもちろん、シフトチェンジも大いに可能。学生の将来に向けた選択肢を広げます。

エネルギー総合工学コース

[コース定員 70名]



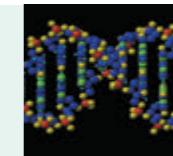
環境防災工学コース

[コース定員 65名]



先端材料物質工学コース

[コース定員 55名]



機械知能・生体工学コース

[コース定員 60名]



情報デザイン・コミュニケーション工学コース

[コース定員 70名]



社会インフラ工学コース

[コース定員 45名]



バイオ食品工学コース

[コース定員 45名]



地域マネジメント工学コース

[コース定員 20名] ※地域マネジメント工学コースの定員は2学科定員410名の内数です。



※令和5(2023)年度入学生からコース定員を変更しています。